

株式会社 フジドリームエアラインズ 9号機以降の機材導入計画を決定

2014年7月16日

株式会社 フジドリームエアラインズ(略称:FDA、本社:静岡県静岡市、代表取締役社長:須川 恒次)は、9号機以降の運航機材として、エンブラエル ERJ 175 を計6機(確定3機、オプション3機)導入する契約をブラジル・エンブラエル社と締結しました。

9号機は2015年3月の導入を予定しており、10号機以降も1年毎、毎年3月に順次導入する予定です。なお、新機材を配備する路線につきましては決定次第発表いたします。

FDA の機体は、広いキャビンと良好な客席視界を特徴とするエンブラエル社製の最新鋭ジェット機で、1号機レッド、2号機ライトブルー、3号機ピンク、4号機グリーン、5号機オレンジ、6号機パープル、7号機イエロー、8号機ティーグリーンと、各機異なるボディカラーを採用しています。このフリート展開は、機材が増えると空港がカラフルに彩られていく“マルチカラー・コンセプト”に基づいています。

新規導入機材の機体カラーは、今後検討を進めてまいります。



【 FDA 機体導入計画概要 】

- | | | |
|---------|---|---|
| 1. 型式 | : | エンブラエル ERJ 175 (ERJ 170-200) |
| 2. 客席数 | : | 84 席 |
| 3. 導入時期 | : | <input type="checkbox"/> 確定 9号機(2015年3月)、10号機(2016年3月)、11号機(2017年3月)
<input type="checkbox"/> オプション 12号機、13号機、14号機 |
| 4. 投入路線 | : | 検討中 |

()内は導入予定時期

以上